

# 公民科倫理授業細目 2019

## 1 「倫理」とはどのような授業か —— 授業担当者より

「倫理」と「道徳」は、ほぼ同じ意味をあらわす言葉だと考えられている。しかし、高等学校公民科倫理という科目は、何も疑うことなく一般的に「善」とされることを行い、さらには、自分が正しいと思う判断を他者にも「正しい」が故にそれを強要するような生徒を育てるための科目ではない、と私は考えている。それよりむしろ、「善」とはなにか？ 「正しい」という判断はどのような種類の判断なのか？ ということについて自分の頭で考えて、自分なりの答えを出して、その結果、自分の行動に反映することができるような生徒を育てる科目である、と考えている。

たとえば、戦前の教育基本方針、『教育ニ関スル勅語（いわゆる教育勅語）』の何が間違っていたのか。それは、「忠」という徳目で天皇を長とする国家に対する忠誠心を、「孝」という徳目で父親を長とする家族に対する孝行心を強要していたことである。その結果として、個人の人権よりも国家集団や家族集団を優先する全体主義的価値観が「善」とされ、ナショナリズムや軍国主義に疑いを差し挟む者は「非国民」として排除される教育が行われたのだ。つまり、偏狭な価値観を強要する教育は間違っていたということが、戦後になって確認されたわけだ。自分が国家のために命を尽くしたいと思うのは個人の自由だが、それをすべての国民に強要する教育は認められないということ。それが戦後の常識だ。

だからこそ、私は高校生の価値観や価値判断は他人に押しつけられるべきものではなく、自分自身で形成するべきものだと考えている。

ここで、価値判断とは何か、ということについて考えてみよう。判断には、「事実判断」と「価値判断」の区別がある。それは、「事実」と「意見」の区別に対応する。「今日の茂原の天気は雨だ」という判断は、北海道出身者であろうと沖縄出身者であろうと、真か偽かの実事確かめることができる判断である。一方、「今日の茂原は涼しくてよい」という判断はそれを感じる人によって真偽が明らかに変わる、価値に関わる判断である。同じように、ペーパーテストに出題される問題は、○か×かを確かめることができる事実判断だが、小論文などで要求される意見は、○か×かを確定できない価値判断であるといえる。たとえば「快樂の量を数値化することは正しい」という価値判断を含んだ言明については、本当に数値化できるかどうか、それが正しいかどうかなどの点で、事実か否かを判断することは困難である。しかし、「功利主義者ベンサムは快樂の量は計算可能だと述べた」という言明は、彼の著作を調べれば、真実の事実かどうかを簡単に明らかにすることができる。

ここで、事実判断と価値判断の違いを整理してみよう。

**事実判断：** その判断が真か偽かを経験的に検証することができる判断

例1) 映画「ララランド」はアカデミー作品賞を受賞した。 例2) プラトンは民主政治を否定した。

**価値判断：** 誰かが何かについて積極的あるいは消極的評価を与える評価判断

例3) この映画はよい。 例4) 無知な民衆が支配する民主政治は国家に正義をもたらすことができない。

※ 価値の判断は快樂（快・苦）、利益（利・害）、正義（正・邪）などを基準にして、伝統・慣習、内部の信念、他者の評判や流行をよりどころにして行われる。また、義務（～すべきである）や命令（～せよ）という判断は規範的判断と言われ、これも真偽を一面的・一義的に検証することはできない。

注意しなければならないのは、倫理の教科書の中にも事実判断と価値判断が混在しているということだ。さらには、残念ながら教科書の記述の中にも、高校生向けに簡略化されているがゆえに事実誤認的になってしまっている部分もある。「真理」とは何かというテーマについてはミシェル・フーコーの思想を扱う際に触れるが、教科書に書かれていることは所詮「教科書的な真理」にすぎない。それは、広いジャンルの読書が続けていれば容易に分かってくることだ。生徒の皆さんは、教科書の意見やたくさんの思想家や宗教家の意見、そして私片岡の意見を噛み砕き、咀嚼しながら、のんびりと焦ることなく自分自身の人間観や世界観そして価値判断のための枠組みを選び取っていただけたら、と思う。そして、どんなテーマであっても臆することなく論じることができるために、教養という工具箱のツールを増やして健全な批判精神を磨いて欲しい。

## 2 公民科「倫理」の目標

### 2.1 文部科学省により学習指導要領に定められた目標

【目標】人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
- (3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

### 2.2 この授業での目標

1. 高校卒業、あるいは大学受験に必要な程度の「倫理」的知識と教養、さらには思考力を習得する。
2. 高度な概念や理論が書かれたテキストを論理的・構造的に読み取って理解し、覚える力を養うとともに、概念や理論を自分の力で構成し、それを言語化して表現する力を養う。

## 3 使用教材等

### 3.1 教科書・資料集

【教科書】『倫理』東京書籍

【資料集】『テオリア 最新倫理資料集 新版二訂』第一学習社

### 3.2 推薦図書

【超推薦図書】

『倫理用語集』山川出版社：センターの問題はこの範囲から出題されます。座右の書として常に読んでください。

「片岡の倫理授業プリント」：(旧版のすべてのプリントを下のウェブサイトから PDF 形式のファイルでダウンロードできます)

【その他推薦図書】

『センター試験への道 倫理 一問題と解説』山川出版社：センター過去問を单元ごと掲載、授業・補習の後に！

『改訂版センター試験 倫理の点数がおもしろいほど取れる本』村中和之著、中経出版：センター必出ポイントを非常に分かりやすく読みやすく解説して予習復習に適している

「片岡の定期考査過去問及び解答解説」：同じく下のウェブサイトからダウンロードできます。

## 4 授業担当者

教科担当：片岡 勝規

URL：<http://k-katsunori.la.coocan.jp/> 【片岡勝規の公民科倫理教科研究室】

E-mail：[ktok-katsunori@nifty.com](mailto:ktok-katsunori@nifty.com) (質問等、メールにはあなたの氏名を明示してください)

倫理、倫理研究、朝と夏季休業中の補習も含めた講座の全構成

内 容	講 座
思想の源流	倫理授業 (2単位)
青年期の課題と自己形成・現代社会の特質と人間 日本の思想 (朝課外ではやりません)	倫理研究授業 (2単位) 課外「倫理研究」木曜 7:30~8:10 (5月~10月)
これしかない! 「西洋近現代思想」特講	倫理夏季ゼミ (夏季・冬季休業中) 16時間実施予定 (160分×6コマ)
迷わず「日本思想」特講	倫理夏季ゼミ (夏季・冬季休業中) 9時間実施予定 (90分×6コマ)
センター倫理過去問演習	木曜 7:30~8:10 (10月~1月)

## 5 学習計画（予定）

「倫理」（2単位）学習内容	時期	「倫理研究」（2単位）学習内容	時期
0 ガイダンス公民科「倫理」とは何か 2 思想の源流（17項目） 21 古代ギリシアの思想 211 神話から哲学へ 212 ソフィストとソクラテス 213 プラトン 214 アリストテレス 215 ヘレニズム時代の思想 22 キリスト教の思想と信仰 221 ユダヤ教・旧約聖書の思想 222 イエスの教え 223 原始キリスト教 224 キリスト教の展開 23 仏教の思想と信仰 231 仏教以前の思想 232 仏陀の教え 233 仏教の展開 24 古代中国の思想 241 古代中国思想と諸子百家 242 儒家思想とその発展 243 朱子学と陽明学 244 道家（老荘）思想 25 イスラームの思想	前期	1 青年期の課題と自己形成 101 人間とは何か？ 文化とは何か？ 102 欲求と適応 103 パーソナリティの形成 104 青年期の心理と課題 5 現代社会の特質と人間 501 現代社会の家族と女性の社会進出 502 高齢社会 503 情報社会 504 都市化・組織化と大衆化社会 505 国際化社会 506 環境倫理 507 生命倫理	前期
4 西洋近現代思想（17項目） 41 近代思想の誕生 410 中世末期西ヨーロッパの時代と思想 411 ルネサンス 412 宗教改革 413 近代自然科学思想 414 イギリス経験論 415 大陸合理論 416 モラリスト 42 近代思想の展開 421 社会契約説 422 啓蒙思想 423 カントとドイツ観念論 424 功利主義 utilitarianism 43 現代の思想 431 実証主義・進化論 432 社会主義 433 プラグマティズム 434 実存主義（実存哲学） 435 現代のヒューマニズム 436 20世紀後半の思想	後期	3 日本の思想（13項目） 301 古代日本の思想と文化 302 仏教伝来、奈良・平安仏教 303 鎌倉仏教 法然 親鸞 一遍 304 鎌倉仏教 栄西・道元と日蓮 305 日本儒学 朱子学派 林羅山 306 日本儒学 中江藤樹 伊藤仁斎 307 国学 本居宣長 308 農民・町人の思想 309 洋学・啓蒙思想 310 自由民権運動・国家主義 311 日本のキリスト教・社会主義・大正デモクラシー 312 近代的自我と文学 313 西田幾多郎と和辻哲郎	後期

## 6 先輩たちからのメッセージ

「2019年長生高校センター倫理受験者のアンケート」より

昨年の3年の先輩たちから後輩の皆さんへのアドバイス&メッセージです

- ・ 私は友だちと倫理の問題をよく出し合っていました。息抜きになってすごくよかったです。倫理はそういうことをしていると楽しくなってくるので、工夫して倫理の勉強が楽しくなる方法を見つけると良いと思います。がんばってください！
- ・ がんばってください。
- ・ はじめは全然覚えられないけど、やってれば覚えてくるので頑張ってください。
- ・ やればやるほど点数に直結しやすい教科だと思います！ 自分のお気に入りの参考書や先生のプリント等を繰り返しやれば必ず点が伸びてくるので、頑張ってください。
- ・ 片岡先生の課外は時間を惜しんでも出席すべき。特に授業中に開演される寸劇は本当に頭に残るので、真面目に見た方がいいです。本番中も問題文に人名や出来事が書かれていると、先生の特徴的な声と寸劇が頭にこびりついていて、スラスラ内容が出てきました。
- ・ 倫理・倫政は楽な科目ではありません。おそらく一問一答だけでは対応できないでしょう。授業や課外をしっかりと受けて、万全の状態で臨んでください。片岡先生を信じて勉強を続ければ、必ず結果は出ると思います。あとは過去問を解くことの大切さも頭に入れておいてください。
- ・ 早いうちからの繰り返しが大切だと思います。倫理のプリントやテオリアには偉人の名言がたくさん載っているので、勉強が辛い…と思ったときに見ると、勇気をもらうこともあります。ゼロとイチの差は大きいと思うので、受験に必要な人は定期テスト満点とるつもりで復習するのいいと思います。自分一人で勉強するより、課外に出たり、友だちと勉強するとより頭に入ります。がんばれ！！
- ・ 早い内からやっておいた方がいいです。暗記科目が最後ネックになるのは「みんなとれる問題でとれてない…」と不安になって精神的にも良くないです。
- ・ 普段から日本や世界のニュースに対して幅広い知識を持っていると良いと思います。当日の朝は、片岡先生のプリントで最後の確認をすると落ち着いて試験に臨むことができます。
- ・ 多くを忘れてしまうにしても、その時々定期考査を目安に知識をいれておくことで、受験前に再び勉強したときの定着しやすさが違う（と思う）ので、定期考査を利用すると良いと思います。
- ・ ありきたりですが、自分を信じる気持ちは大切です。当日やったことが出るというのは本当だと思います。だめかもと思いながら最後まで自分が使ってきたものを見続けて覚えようとする行為が大切です。応援しています。不安になるのは当然だと思うのですが、最後まで解ききしないことの方が公開すると思います。自分を信じて次に次に進んで解いていくことがいいと思います。
- ・ 倫理では時代や環境、考え方の異なる様々な人について学ぶので、新しい知り合いや友人を作るつもりで学んでいくと、楽しく問題が解けるかも知れません。頑張ってください。
- ・ 授業でやらない範囲は早めに取りかかった方がいいと思います。課外を受けるのもオススメです。
- ・ 直前にやる片岡先生の予想のヤツは出た方がいいです。プリントも大事なことが色々書いてあるからちゃんと確認した方がいいです。
- ・ 理系は地歴公民勝負やで！！
- ・ はじめは倫理の資料集に出てくる人が多すぎて「ムリ～」と思うかも知れませんが、だんだん慣れていくと頭の中で整理されて、入ってくれるので心配はいりません。人は人自分は自分で、自分に合った問題集ややり方があるのでそれを見つけて頑張ってください。
- ・ 最後の最後まで頑張ってください。
- ・ 授業・課外をフルに活用するのが一番良いと思います。先生のプリントに自分でたくさん書き込むと、後で見直すのにも役立つし、課外にもきちんと出席して先生のプリントをリングのファイルに挟んでみるとこれだけやったんだという自信にもなります。私は試験直前に見るためにも、お守り代わりに、当日にそのプリントファイルを持って行きました。倫政は本当に盛りだくさんで分からないことだらけだと思います。問題演習を重ねるしかないと思います。でも、見直しの時間のかけ過ぎには注意です。つまったら学校の先生に聞くのが一番早くて分かりやすいです。本番は何が出るのか分かりません。早めに穴を潰しておけると最高です。片岡先生を信じて、楽しく授業を受けてくださいね。

「二元論」で考えよ —— 対概念・対義語で考える

「本質」と「現象」を意識せよ —— 抽象化と具体化の思考

「弁証法」で考えよ —— 生成変化は自己否定だ

キーワードと概念を押さえよ —— 単独の術語と意味の構造的なまとめ

すべての学習は暗記から始まる —— 道具は所有していなければ使用できない